

講義名	対)中国語資格試験準備 A			授業形態	
担当教員	関 梅	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

この科目は、中国語検定試験を受ける学生のために開講したものである。この授業では中国語 4 級の検定試験の合格を目標としている。中国語検定試験のランクは準 4 級から始まりますが、この授業ではワンランク上の 4 級レベルの内容を学習しながら、検定試験を受けるためのリスニングと筆記のトレーニングを進めていきます。

到達目標

中国語検定試験4級に合格する目標を目指します。

4 技能に関する到達目標

聞く：平易な日常会話の内容を聞いて分かる
 話す：自己紹介ができ、短い文の質問と答えができる
 読む：300字以内の平易な内容の中国語を理解することができる。
 書く：基本文型を応用して、簡単な自己紹介文を書くことができる。

提出課題

毎回の授業では、トレーニングの状況を確認するため、トレーニングのプリントの提出をしてもらい、次回にフィードバックを行います。また、不定時に宿題のプリントも配布します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

前回のトレーニングの結果を講評し、理解の不十分な文法項目を再度説明します。

評価の基準

原則としてオンライン授業に5回の欠席及び1/3以上提出期限内にワークシートを提出しなかった場合は失格とします。
 △切期限外に提出する場合は減点評価となります。

履修にあたっての注意・助言他

中国語4級検定試験に合格するには日々の努力は欠かせないので、単語の暗記と文法の復習をする必要があります。

教科書

.教科書を使用しない。

参考図書

.なし。

その他

検定問題の過去問題及びプリント教材

授業計画

- 1.Live/授業の進行についての説明と実力測定&検定試験の説明
- 2.Live/ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング
- 3.Live/ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング
- 4.Live/ワークシート配布：模擬試験による実力測定・解説
- 5.Live/ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング
- 6.Live/ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング
- 7.Live/ワークシート配布：模擬試験による実力測定・解説
- 8.Live/ワークシート配布：本講義の前半復習
- 9.Live/ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング
- 10.Live/ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング
- 11.Live/ワークシート配布：模擬試験による実力測定・解説
- 12.Live/ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング
- 13.Live/ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング
- 14.Live/ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング
- 15.Live/ワークシート配布：模擬試験による実力測定・解説

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> A：PBL（課題解決型学習）	<input type="checkbox"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="checkbox"/> U：ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/> E：グループワーク
<input type="checkbox"/> O：プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> K：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> K：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

本講義は中国語検定4級を目指すため、授業外での努力は欠かせません。
 毎回の授業の後に、復習、予習課題があります。
 そのため勉強時間も確保しなければなりません。
 継続的に練習するのに、毎日の学習時間は40分程度が必要です。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

外国語を用いて「人と円滑なコミュニケーションをとることができる」資質・能力を育み、法学部生に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」、経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成実の基礎」、人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に習熟した「コミュニケーション能力」の育成を目指します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

受講者の習得状況に応じて授業の進度を調整します。